

平成 29 年 2 月 6 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算について

当社の平成 29 年 3 月期 第 3 四半期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで）における四半期決算について、別添のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信
 - ・ 四半期連結貸借対照表
 - ・ 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 等
2. 平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 説明資料

以 上

【本件に関するお問合せ先】

総合企画部 主計室 京原・石井

TEL 083-223-5518



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ
 コード番号 8418 URL <http://www.vmfng.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉村 猛
 (氏名) 京原 健
 特定取引勘定設置の有無 有

TEL 083-223-5511

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	125,532	3.0	36,992	△2.6	25,099	0.6
28年3月期第3四半期	121,827	2.7	37,976	5.8	24,940	0.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 29,285百万円 (67.3%) 28年3月期第3四半期 17,501百万円 (△68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	102.32	84.71
28年3月期第3四半期	102.36	84.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,202,497	608,658	5.9
28年3月期	10,438,004	583,167	5.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 602,803百万円 28年3月期 577,403百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	△5.7	43,000	△13.5	28,500	△11.8	116.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	264,353,616 株	28年3月期	264,353,616 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	18,556,938 株	28年3月期	19,472,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	245,305,666 株	28年3月期3Q	243,656,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「平成29年3月期第3四半期決算短信説明資料」として添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
(追加情報)	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 平成29年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	P. 8～17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は国債等債券売却益及び株式等売却益並びに貸倒引当金戻入益の増加を主因として、前年同期比37億5百万円増加して1,255億32百万円となりました。一方、経常費用は国債等債券償還損の増加を要因とするその他業務費用やその他経常費用の増加を主因として、前年同期比46億90百万円増加して885億40百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比9億84百万円減少して369億92百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億59百万円増加して250億99百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末比2,356億円減少して10兆2,024億円となり、純資産は利益剰余金の増加を主因に、前連結会計年度末比255億円増加して6,086億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比3,207億円減少して9兆1,893億円、貸出金は前連結会計年度末比2,225億円増加して6兆6,713億円、有価証券は前連結会計年度末比157億円減少して2兆1,049億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」の適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この結果による当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,174,641	750,257
コールローン及び買入手形	356,718	354,881
買入金銭債権	7,909	9,141
特定取引資産	4,250	3,736
金銭の信託	47,655	48,562
有価証券	2,120,651	2,104,946
貸出金	6,448,887	6,671,332
外国為替	14,990	16,145
リース債権及びリース投資資産	13,784	14,179
その他資産	146,530	126,097
有形固定資産	88,665	90,059
無形固定資産	9,173	8,636
退職給付に係る資産	21,693	24,098
繰延税金資産	2,211	1,870
支払承諾見返	47,719	42,394
貸倒引当金	△67,478	△63,841
資産の部合計	10,438,004	10,202,497
負債の部		
預金	8,703,690	8,524,128
譲渡性預金	806,398	665,242
コールマネー及び売渡手形	73,343	98,524
債券貸借取引受入担保金	32,000	54,541
特定取引負債	3,525	2,867
借入金	34,552	28,258
外国為替	374	268
新株予約権付社債	67,608	69,894
その他負債	63,755	83,260
賞与引当金	3,439	1,477
退職給付に係る負債	2,056	1,930
役員退職慰労引当金	39	250
役員株式給付引当金	-	84
利息返還損失引当金	29	21
睡眠預金払戻損失引当金	1,404	1,135
ポイント引当金	75	79
特別法上の引当金	17	21
繰延税金負債	3,932	8,587
再評価に係る繰延税金負債	10,871	10,871
支払承諾	47,719	42,394
負債の部合計	9,854,836	9,593,839

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	60,780	60,599
利益剰余金	415,100	435,766
自己株式	△23,426	△22,540
株主資本合計	502,455	523,825
その他有価証券評価差額金	54,020	57,115
繰延ヘッジ損益	△306	△235
土地再評価差額金	24,522	24,538
退職給付に係る調整累計額	△3,288	△2,439
その他の包括利益累計額合計	74,947	78,978
新株予約権	600	512
非支配株主持分	5,163	5,341
純資産の部合計	583,167	608,658
負債及び純資産の部合計	10,438,004	10,202,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
経常収益	121,827	125,532
資金運用収益	75,562	73,830
(うち貸出金利息)	57,635	55,571
(うち有価証券利息配当金)	16,495	17,533
役務取引等収益	18,475	18,410
特定取引収益	1,523	1,688
その他業務収益	12,015	16,469
その他経常収益	14,250	15,134
経常費用	83,850	88,540
資金調達費用	5,936	5,710
(うち預金利息)	4,492	3,827
役務取引等費用	5,879	6,243
特定取引費用	2	-
その他業務費用	10,760	13,253
営業経費	59,744	59,825
その他経常費用	1,527	3,507
経常利益	37,976	36,992
特別利益	1,353	198
固定資産処分益	14	198
退職給付信託返還益	1,338	-
特別損失	126	112
固定資産処分損	46	93
減損損失	75	14
金融商品取引責任準備金繰入額	5	3
税金等調整前四半期純利益	39,202	37,078
法人税、住民税及び事業税	10,543	8,185
法人税等調整額	3,322	3,635
法人税等合計	13,865	11,820
四半期純利益	25,337	25,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	396	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,940	25,099

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	25,337	25,257
その他の包括利益	△7,835	4,027
その他有価証券評価差額金	△7,499	3,106
繰延ヘッジ損益	40	71
退職給付に係る調整額	△377	849
四半期包括利益	17,501	29,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,101	29,115
非支配株主に係る四半期包括利益	400	170

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成29年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況		
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	----	10頁
(3) 単体		
①山口銀行	----	11頁
②もみじ銀行	----	12頁
③北九州銀行	----	13頁
2. 金融再生法ベースの категорияによる開示	----	14頁
3. 時価のある有価証券の評価差額	----	15頁
4. 預金・貸出金等の状況		
(1) 預金・譲渡性預金の残高	----	16頁
(2) 個人預り資産の残高	----	16頁
(3) 貸出金の残高	----	17頁
5. 自己資本比率	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- 山口フィナンシャルグループの連結決算につきましては、経常収益は国債等債券売却益、株式等売却益の増加を主因に、前年同期比37億5百万円増加して1,255億32百万円となりました。
- 経常利益は、資金利益及び役員取引等利益の減少により前年同期比9億84百万円減少して369億92百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億59百万円増加して250億99百万円となりました。
- コア業務純益は、資金利益の減少等により前年同期比5億8百万円減少して210億14百万円となりました。

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成28年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	125,532	3,705	121,827	165,504
連結業務粗利益	85,210	186	85,024	114,364
資金利益	68,138	△ 1,514	69,652	91,165
役員取引等利益	12,167	△ 428	12,595	16,434
特定取引利益	1,688	167	1,521	1,790
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	3,215 (5,881)	1,960 (1,540)	1,255 (4,341)	4,974 (10,834)
経費(除く臨時処理分)(△)	58,314	△ 845	59,159	78,347
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	26,896	1,032	25,864	36,017
連結コア業務純益	21,014	△ 508	21,522	25,182
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
連結業務純益	26,896	1,032	25,864	36,017
臨時損益	10,115	△ 2,023	12,138	13,736
うち株式等関係損益	9,826	1,238	8,588	7,916
うち不良債権処理額(△) ②	174	△ 29	203	266
うち貸倒引当金戻入益 ③	2,809	1,037	1,772	3,753
うち償却債権取立益 ④	48	40	8	15
経常利益	36,992	△ 984	37,976	49,718
特別損益	86	△ 1,140	1,226	1,140
税金等調整前四半期(当期)純利益	37,078	△ 2,124	39,202	50,858
法人税等合計(△)	11,820	△ 2,045	13,865	18,170
四半期(当期)純利益	25,257	△ 80	25,337	32,688
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△)	158	△ 238	396	392
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	25,099	159	24,940	32,295
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 2,683	△ 1,105	△ 1,578	△ 3,502

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 連結業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
- 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
- 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
- 連結業務純益 = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額
- 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	16	3	13	14
持分法適用会社数	3	-	3	3

(2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	平成29年3月期		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
	第3四半期 (9カ月)	前年同期比		
経常収益	111,868	1,271	110,597	148,886
業務粗利益	79,227	△ 1,822	81,049	108,559
資金利益	68,469	△ 2,642	71,111	92,598
役務取引等利益	8,753	△ 408	9,161	11,859
特定取引利益	43	41	2	30
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	1,961 (5,881)	1,188 (1,490)	773 (4,391)	4,071 (10,884)
経費(除く臨時処理分)(△)	52,450	26	52,424	69,296
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	26,777	△ 1,848	28,625	39,262
コア業務純益	20,895	△ 3,339	24,234	28,378
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	△ 2,267	72	△ 2,339	△ 3,802
業務純益	29,044	△ 1,921	30,965	43,065
臨時損益	8,106	△ 1,845	9,951	10,342
うち株式等関係損益	9,826	1,238	8,588	7,916
うち不良債権処理額(△) ②	△ 394	△ 1,123	729	261
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	46	39	7	13
経常利益	37,131	△ 3,759	40,890	53,371
特別損益	△ 114	△ 1,345	1,231	1,147
税引前四半期(当期)純利益	37,016	△ 5,106	42,122	54,519
法人税等合計(△)	11,061	△ 2,067	13,128	17,488
四半期(当期)純利益	25,955	△ 3,038	28,993	37,031

与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 2,709	△ 1,092	△ 1,617	△ 3,554
--------------------	---------	---------	---------	---------

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。
5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体
①山口銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益等の減少により、前年同期比39億76百万円減少して597億6百万円となりました。
- ・ 経常利益は、資金利益の減少等により、前年同期比64億96百万円減少して205億91百万円となり、四半期純利益は前年同期比48億33百万円減少して143億12百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、資金利益の減少等により前年同期比25億91百万円減少して135億95百万円となりました。

	平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成28年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成28年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	59,706	△ 3,976	63,682		87,396
業務粗利益	44,602	△ 472	45,074		59,819
資金利益	36,064	△ 2,561	38,625		50,414
役務取引等利益	5,337	△ 498	5,835		7,402
特定取引利益	43	41	2		30
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	3,157 (6,151)	2,547 (1,863)	610 (4,288)		1,971 (9,035)
経費(除く臨時処理分)(△)	24,856	257	24,599		32,450
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	19,746	△ 729	20,475		27,369
コア業務純益	13,595	△ 2,591	16,186		18,333
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-		-
業務純益	19,746	△ 729	20,475		27,369
臨時損益	861	△ 5,778	6,639		7,458
うち株式等関係損益	2,456	△ 3,152	5,608		4,975
うち不良債権処理額(△) ②	71	20	51		70
うち貸倒引当金戻入益 ③	537	341	196		1,610
うち償却債権取立益 ④	44	40	4		5
経常利益	20,591	△ 6,496	27,087		34,791
特別損益	△ 21	△ 1,277	1,256		1,253
税引前四半期(当期)純利益	20,570	△ 7,774	28,344		36,045
法人税等合計(△)	6,257	△ 2,942	9,199		11,338
四半期(当期)純利益	14,312	△ 4,833	19,145		24,706
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 510	△ 362	△ 148		△ 1,545

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

②もみじ銀行

- ・経常収益は、株式等売却益及び国債等債券売却益の増加により、前年同期比57億67百万円増加して437億50百万円となりました。
- ・経常利益は、株式等関係損益の増加を主因として、前年同期比21億44百万円増加して136億39百万円となり、四半期純利益は、前年同期比13億16百万円増加して96億44百万円となりました。
- ・コア業務純益は、国債等債券損益を除いたその他業務利益等の減少等により、前年同期比9億48百万円減少して57億94百万円となりました。

	平成29年3月期		平成28年3月期	
	第3四半期 (9カ月)	前年同期比	第3四半期 (9カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
経常収益	43,750	5,767	37,983	50,880
業務粗利益	26,067	△ 1,558	27,625	37,256
資金利益	24,465	△ 346	24,811	31,977
役務取引等利益	2,889	111	2,778	3,596
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 1,288 (△269)	△ 1,322 (△370)	34 (101)	1,682 (1,603)
経費(除く臨時処理分)(△)	20,542	△ 238	20,780	27,491
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	5,524	△ 1,320	6,844	9,765
コア業務純益	5,794	△ 948	6,742	8,162
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	5,524	△ 1,320	6,844	9,765
臨時損益	8,117	3,467	4,650	5,658
うち株式等関係損益	7,268	4,753	2,515	2,503
うち不良債権処理額(△) ②	96	△ 9	105	135
うち貸倒引当金戻入益 ③	1,091	△ 246	1,337	1,931
うち償却債権取立益 ④	2	△ 0	2	8
経常利益	13,639	2,144	11,495	15,424
特別損益	△ 85	△ 70	△ 15	△ 19
税引前四半期(当期)純利益	13,554	2,075	11,479	15,405
法人税等合計(△)	3,909	758	3,151	4,917
四半期(当期)純利益	9,644	1,316	8,328	10,487
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 998	237	△ 1,235	△ 1,805

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

③北九州銀行

- ・経常収益は、貸倒引当金戻入益や資金運用収益の増加を主因として、前年同期比5億1百万円増加して112億46百万円となりました。
- ・経常利益は、与信関係費用の減少や資金利益の増加等により、前年同期比5億93百万円増加して29億円となり、四半期純利益は、前年同期比4億79百万円増加して19億98百万円となりました。

	平成29年3月期		平成28年3月期		平成28年3月期 (参考) (年間)
	第3四半期 (9カ月)	前年同期比	第3四半期 (9カ月)	第3四半期 (9カ月)	
経常収益	11,246	501	10,745		14,415
業務粗利益	8,557	207	8,350		11,483
資金利益	7,938	263	7,675		10,206
役務取引等利益	526	△ 20	546		860
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	92 -	△ 36 (△1)	128 (1)		416 (245)
経費(除く臨時処理分)(△)	7,051	7	7,044		9,354
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,505	199	1,306		2,128
コア業務純益	1,505	201	1,304		1,883
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-		-
業務純益	1,505	199	1,306		2,128
臨時損益	1,395	394	1,001		1,027
うち株式等関係損益	101	△ 363	464		436
うち不良債権処理額(△) ②	6	△ 40	46		60
うち貸倒引当金戻入益 ③	1,206	927	279		263
うち償却債権取立益 ④	-	-	-		0
経常利益	2,900	593	2,307		3,156
特別損益	△ 8	1	△ 9		△ 87
税引前四半期(当期)純利益	2,892	595	2,297		3,068
法人税等合計(△)	894	116	778		1,231
四半期(当期)純利益	1,998	479	1,519		1,837
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 1,200	△ 967	△ 233		△ 203

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

- 山口銀行の不良債権額は前年同期末比88億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.3%低下しました。
- もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比2億円増加し、不良債権比率は前年同期末比0.03%低下しました。
- 北九州銀行の不良債権額は前年同期末比34億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.51%低下しました。

		(単位:億円、%)		【参考】(単位:億円、%)
		平成28年12月末	平成27年12月末	平成28年9月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	440	455	441
	危険債権	467	523	479
	要管理債権	90	140	93
	合 計	997	1,118	1,015
	総与信に占める開示額の割合	1.47	1.72	1.52
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	164	171	164
	危険債権	232	286	241
	要管理債権	66	93	70
	合 計	463	551	476
	総与信に占める開示額の割合	1.28	1.58	1.34
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	196	193	196
	危険債権	164	152	169
	要管理債権	14	28	15
	合 計	376	374	381
	総与信に占める開示額の割合	1.77	1.80	1.82
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	79	89	79
	危険債権	70	84	69
	要管理債権	8	17	8
	合 計	158	192	157
	総与信に占める開示額の割合	1.52	2.03	1.54

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

平成27年12月末・平成28年12月末の各開示区分の金額は、9月末から12月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた12月末時点における各残高を記載しております。

2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・3行合算の「その他有価証券」の評価差額は、前年同期末比110億円減少し、819億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成28年12月末		平成27年12月末		平成28年9月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	20,873	819	21,812	929	20,588	652
	株式	1,366	775	1,406	775	1,175	573
	債券	16,280	150	17,539	199	16,283	267
	その他	3,226	△ 106	2,866	△ 45	3,129	△ 189
山口銀行	その他有価証券	13,002	661	14,801	715	12,997	533
	株式	1,017	598	1,046	591	869	441
	債券	10,257	122	12,070	146	10,413	200
	その他	1,728	△ 59	1,684	△ 23	1,714	△ 108
もみじ銀行	その他有価証券	7,590	14	6,719	72	7,342	7
	株式	124	38	136	46	114	26
	債券	5,967	22	5,400	47	5,814	61
	その他	1,497	△ 47	1,182	△ 21	1,414	△ 80
北九州銀行	その他有価証券	280	143	291	141	248	111
	株式	224	138	223	136	192	106
	債券	55	4	67	4	56	5
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成28年12月末		平成27年12月末		平成28年9月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	55	1	49	0	51	1
山口銀行	満期保有目的の債券	3	0	10	0	2	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	52	1	39	0	48	1

4. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金・譲渡性預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金・譲渡性預金の残高は、個人預金等が増加し、前年同期末比500億円増加して9兆2,145億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比70億円増加して5兆3,721億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比11億円減少して2兆8,662億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比441億円増加して9,761億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年12月末	平成27年12月末	平成28年9月末
3行合算	預金・譲渡性預金	92,145	91,645	92,638
	預金	85,440	83,982	85,726
	譲渡性預金	6,705	7,662	6,912
山口銀行	預金・譲渡性預金	53,721	53,651	53,129
	預金	48,774	47,860	48,984
	譲渡性預金	4,946	5,791	4,145
もみじ銀行	預金・譲渡性預金	28,662	28,673	29,202
	預金	27,824	27,528	27,544
	譲渡性預金	838	1,145	1,658
北九州銀行	預金・譲渡性預金	9,761	9,320	10,306
	預金	8,840	8,594	9,197
	譲渡性預金	920	725	1,108

(2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・3行合算の個人預り資産残高は、前年同期末比628億円増加して、7,878億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年12月末	平成27年12月末	平成28年9月末
3行合算	公共債	146	245	155
	保険	7,133	6,604	7,025
	投資信託	597	400	522
	合計	7,878	7,250	7,703
山口銀行	公共債	62	119	66
	保険	3,112	2,869	3,057
	投資信託	310	216	276
	合計	3,484	3,205	3,400
もみじ銀行	公共債	59	93	64
	保険	3,720	3,468	3,669
	投資信託	252	157	213
	合計	4,032	3,719	3,947
北九州銀行	公共債	25	32	25
	保険	300	266	298
	投資信託	35	26	32
	合計	361	326	355

(注) 投資信託は時価ベース、公共債は額面ベース、保険(平準払保険を含まない年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースです。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年12月末	平成27年12月末	平成28年9月末
ワイエム証券	債券	862	641	762
	株式	558	606	510
	投資信託	1,059	1,231	1,029
	その他	193	195	139
	合計	2,672	2,674	2,441

(注) ワイエム証券は時価ベースで、その他にはMRF等を含んでおります。

(3) 貸出金の残高【単体】

- 3行合算の貸出金残高は、前年同期末比2,708億円増加して6兆7,126億円となりました。
- 山口銀行は、地公体向け及び法人向け貸出を中心に前年同期末比1,314億円増加して3兆5,815億円となりました。
- もみじ銀行は、個人向け及び法人向け貸出を中心に前年同期末比468億円増加して2兆1,028億円となりました。
- 北九州銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比926億円増加して1兆282億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年12月末	平成27年12月末	平成28年9月末
3行合算	貸出金	67,126	64,418	65,991
	うち個人ローン	12,853	11,781	12,556
	うち住宅ローン	11,508	10,308	11,222
	うちその他ローン	1,344	1,473	1,333
	中小企業等貸出金 (A)	38,979	36,955	38,236
	貸出金残高(国内) (B)	66,817	64,059	65,694
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	58.33%	57.68%	58.20%
山口銀行	貸出金	35,815	34,501	35,242
	うち個人ローン	5,902	5,573	5,820
	うち住宅ローン	5,235	4,927	5,162
	うちその他ローン	667	646	658
	中小企業等貸出金 (C)	17,172	16,756	16,922
	貸出金残高(国内) (D)	35,505	34,142	34,946
	中小企業等貸出金比率 (C) / (D)	48.36%	49.07%	48.42%
もみじ銀行	貸出金	21,028	20,560	20,677
	うち個人ローン	5,118	4,582	4,964
	うち住宅ローン	4,788	4,079	4,631
	うちその他ローン	329	502	332
	中小企業等貸出金 (E)	14,099	13,263	13,771
	貸出金残高(国内) (F)	21,028	20,560	20,677
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	67.05%	64.50%	66.59%
北九州銀行	貸出金	10,282	9,356	10,070
	うち個人ローン	1,832	1,625	1,771
	うち住宅ローン	1,484	1,301	1,428
	うちその他ローン	347	324	343
	中小企業等貸出金 (G)	7,707	6,935	7,542
	貸出金残高(国内) (H)	10,282	9,356	10,070
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	74.95%	74.12%	74.90%

(注)1. 「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。
2. 平成28年3月末より、もみじ銀行の個人ローンの抽出方法を山口銀行、北九州銀行と同一に変更しております。

5. 自己資本比率

平成28年12月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準)につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。